

利活用検討の土台

港湾としての機能

ランドデザイン

スポーツ・コンベンションセンターの基本構想

利活用のビジョン
・コンセプト

年間365日 賑わう拠点の形成

【3つの要素】

- ①かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点
- ②かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
- ③景観資源(錦江湾や桜島, 歴史的建造物)を活かした魅力ある空間

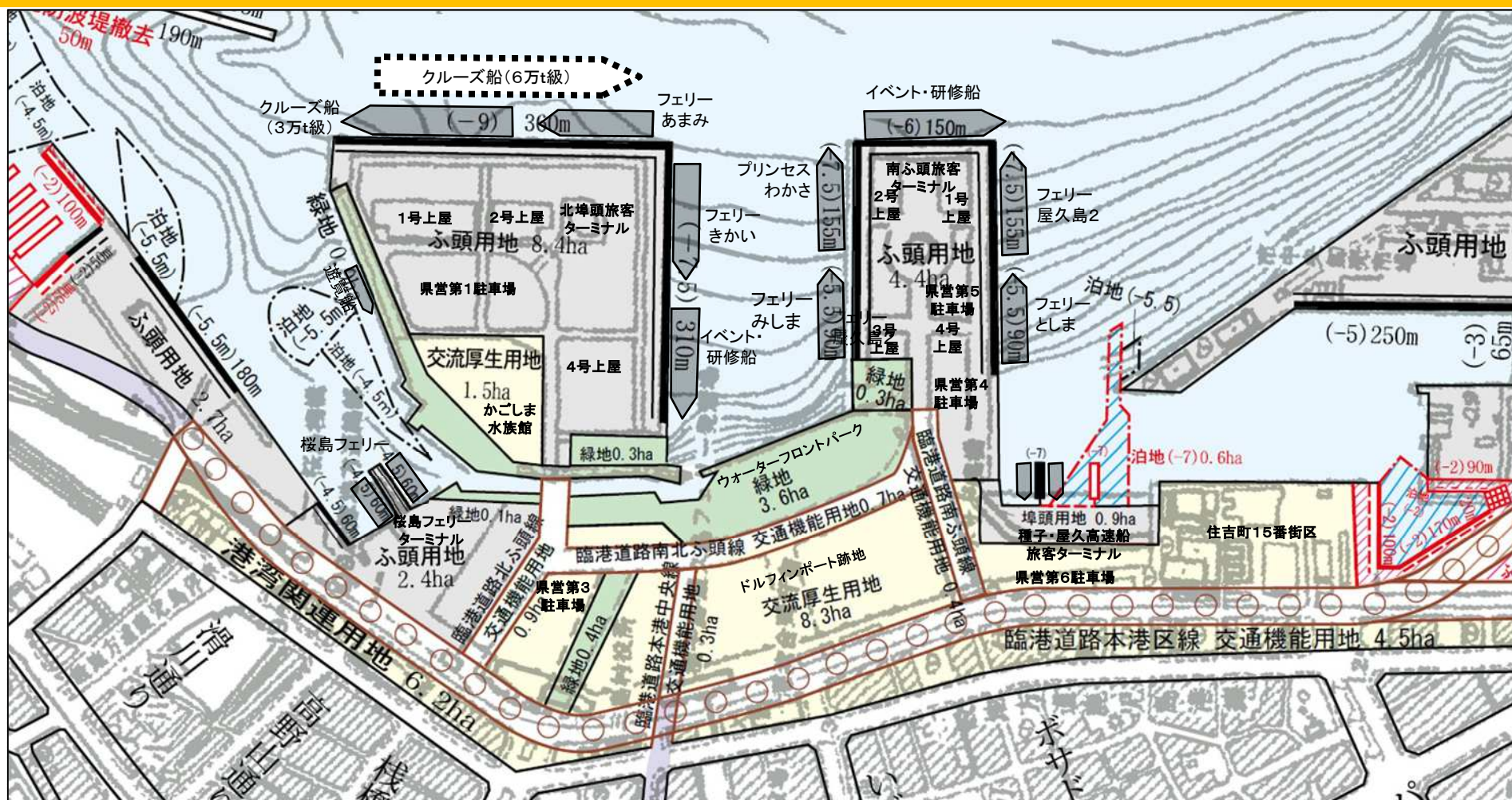
検討委員会で出された意見を踏まえた今後の論点

カテゴリー	検討課題	今後の論点
公共機能の確保 (港湾や交通など)	港湾として確保すべき機能	●北ふ頭, 南ふ頭及び高速船ターミナルについては, 港湾の核心的機能である人流・物流の海上交通の拠点として, 各離島の生活と経済を支える重要な役割を担っていることから, 船舶の離接岸, 乗下船, 荷役, 陸上運搬などに支障がないようにするため, 利活用の全体像を検討するに当たってどのような点に留意すべきか(大規模施設の駐車場に起因する渋滞がないようにすべきとの意見あり)。
導入機能	導入すべき機能	●検討委員会で出された意見等を踏まえ, どういった機能を導入すべきか。 ●物販, 飲食, 観光, 宿泊, 交通拠点, 交流(イベント, コンベンション), 娯楽, 健康増進, 緑地など(ランドデザインにおける導入機能の分類)
中心市街地との連携	中心市街地(天文館, 中央駅)との役割分担と相乗効果	●本港区エリアはどのような役割を担うべきか(中心市街地(天文館, 中央駅)が主として担う飲食・物販等の商業的機能とは競合しないようにすべきとの意見あり)。 ●中心市街地(天文館, 中央駅)との回遊性を向上させるためには, 具体的にどのような方法や取組が考えられるか。
景観への配慮	景観(デザイン)マネジメントのあり方	●「整備」と「保全」の空間デザインの方向性を具体的にどのように仕分けするか(桜島と錦江湾を間近に望み, イベント会場や県民の憩いの場として現在も利活用されているウォーターフロントパークは「保全」するとの議論の方向性であった)。

望まれる利活用の全体像

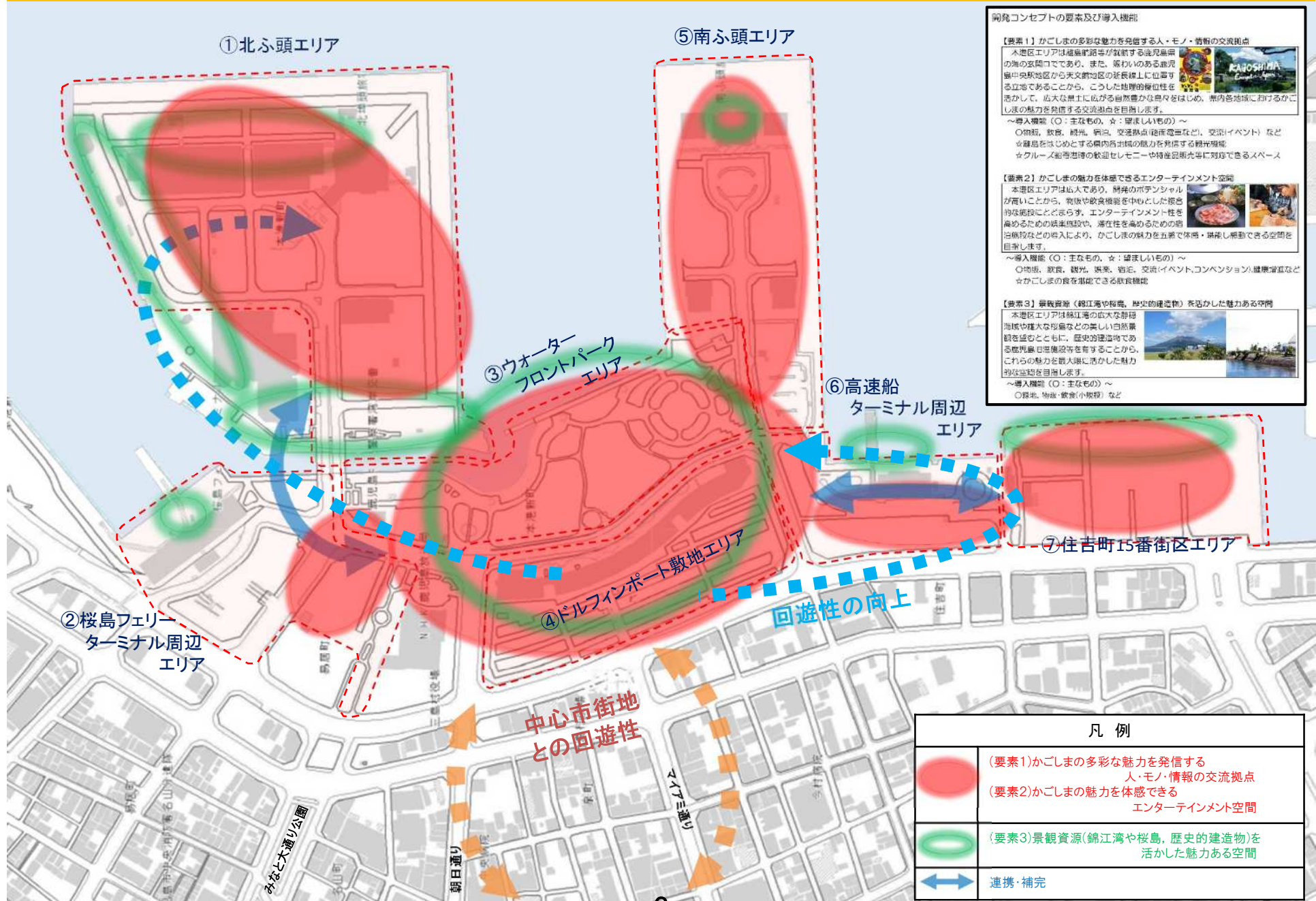
●利活用のあり方や, どの場所にどういった機能を持たせるかというゾーニングの方向性をどのように考えるか(中長期的な視点からの利活用の検討, 民間活力の導入, 商工会議所からの提言などの意見あり)。

(注) 第3回検討委員会で議論を踏まえ, 同委員会の資料6「今後の論点」の内容を一部変更して記載して整理している。



＜土地利用計画の凡例＞

名称	内容
緑地	緑地・広場等の用地
交流厚生用地	港湾を通じた人的・経済的な国内外の様々な交流活動を推進するとともに、港湾におけるレクリエーション活動の用に供する施設及びこれに付随する施設のための用地
埠頭用地	係留施設と一体となって港湾貨物の荷さばき、船舶乗降旅客の取扱等を行うための用地
港湾関連用地	港湾における物流・人流などの輸送活動の増進を図り、また、これらの活動を支援する施設のための用地
交通機能用地	陸上及び航空交通の用に供する用地（臨港道路など）



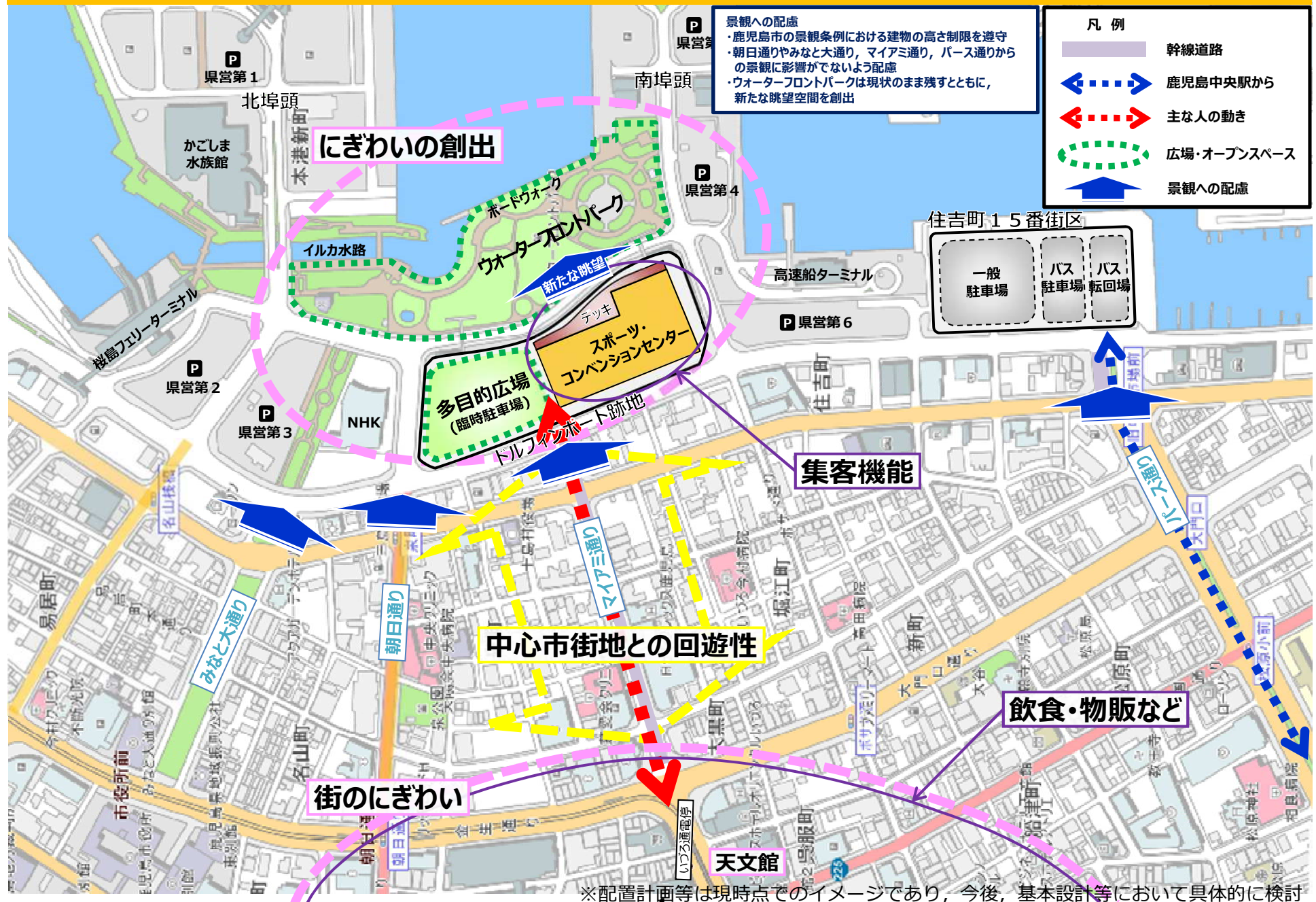
開発コンセプトの要素及び導入機能

【要素1】 かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点
 本港区エリアは雄略館跡等が数軒する遊覧船用の海の玄関口であり、また、賑わいのある遊覧船中央地区から天文館地区の延長線上に位置する立地であることから、こうした地理的優位性を活かして、広大な景土に広がる自然豊かな島々をはじめ、県内各地域におけるかごしまの魅力を発信する交流拠点を目指します。
 ～導入機能（○：主なもの、☆：望ましいもの）～
 ○物販、飲食、観光、宿泊、交通拠点（徒歩電車など）、交流（イベント）など
 ☆離島をはじめとする県内各市域の魅力を発信する観光機能
 ☆クルーズ船等滞泊の歓迎せしめコーナーや特産品販売等に対応できるスペース

【要素2】 かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
 本港区エリアは広入であり、娯楽のポテンシャルが高いことから、物販や飲食機能を中心とした特色的な施設にこだわらず、エンターテインメント性を高めるための娯楽施設や、滞在性を高めるための遊歩道などの導入により、かごしまの魅力を五感で体感・堪能し畅游できる空間を目指します。
 ～導入機能（○：主なもの、☆：望ましいもの）～
 ○物販、飲食、観光、娯楽、宿泊、交流（イベント、コンベンション）・観覧施設など
 ☆かごしまの食を堪能できる飲食機能

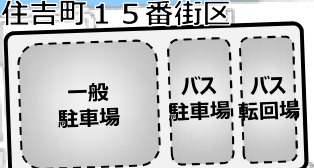
【要素3】 景観資源（錦江湾や桜島、歴史的建造物）を活かした魅力ある空間
 本港区エリアは錦江湾の広大な景観海域や雄大な桜島などの美しい自然景観を望むとともに、歴史的建造物である雄略館跡を擁する有ることから、これらの魅力を最大限に活かした魅力ある空間を目指します。
 ～導入機能（○：主なもの）～
 ○緑地、物販・飲食（小規模）など

凡例	
	(要素1)かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点 (要素2)かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
	(要素3)景観資源(錦江湾や桜島、歴史的建造物)を活かした魅力ある空間
	連携・補完



景観への配慮
 ・鹿児島市の景観条例における建物の高さ制限を遵守
 ・朝日通りやみなと大通り、マイアミ通り、パース通りからの景観に影響がでないよう配慮
 ・ウォーターフロントパークは現状のまま残すとともに、新たな眺望空間を創出

- 凡例**
- 幹線道路
 - 鹿児島中央駅から
 - 主な人の動き
 - 広場・オープンスペース
 - 景観への配慮



※配置計画等は現時点でのイメージであり、今後、基本設計等において具体的に検討

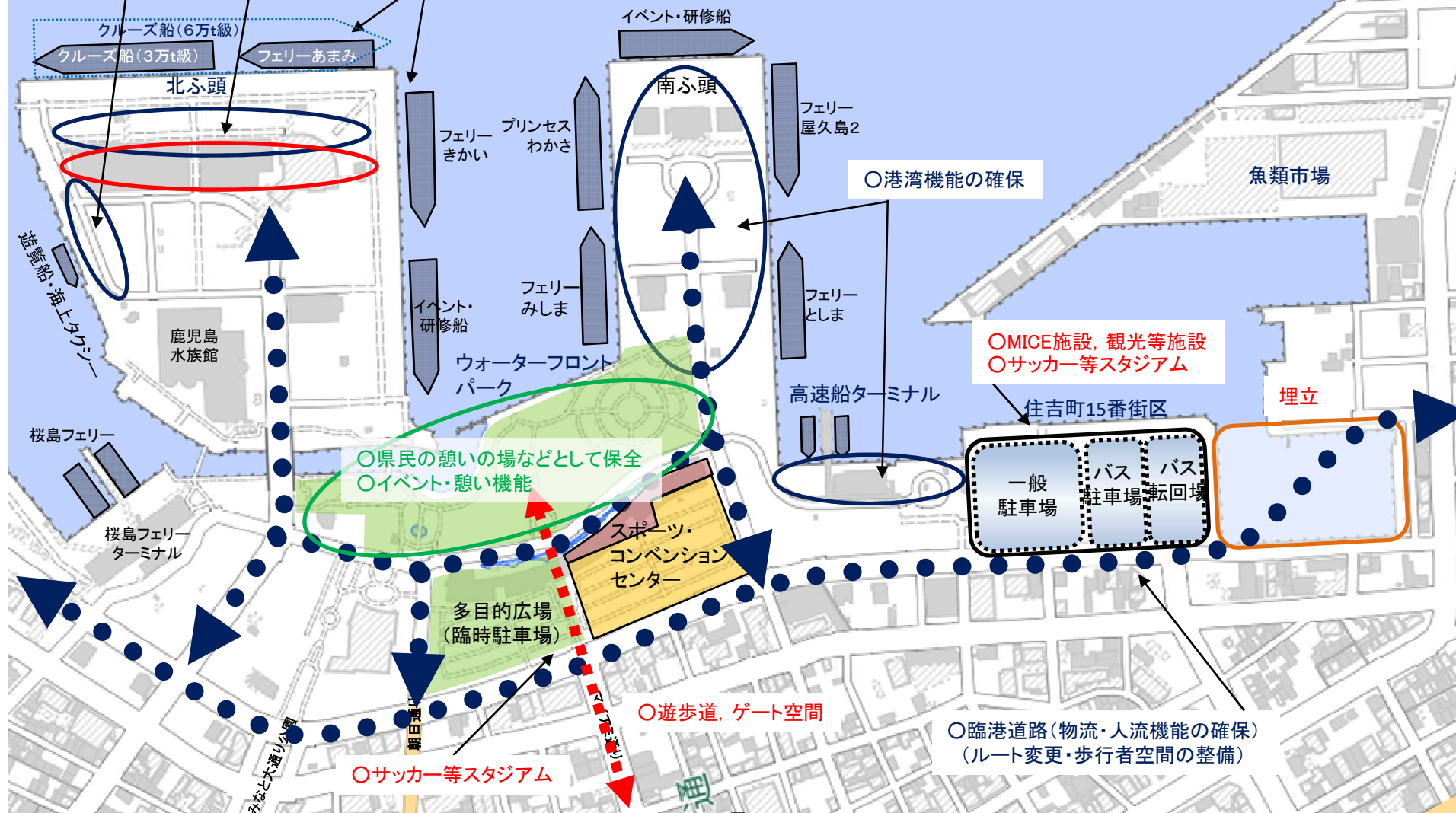
- クルーズ船の発着点としての機能の充実
- エンターテインメント空間の整備
(旅客ターミナルと倉庫のコンバージョン)

- 小型船用ターミナル
(待合所・切符売場・飲食、物販等)

- 奄美・喜界航路の移転・集約
- 移転については利便性に納得できる計画が必要

凡例	
○ (赤)	(要素1)かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点 (要素2)かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
○ (緑)	(要素3)景観資源(錦江湾や桜島, 歴史的建造物)を活かした魅力ある空間
○ (青)	港湾機能

※(要素1)～(要素3)はグランドデザインにおける分類



【参考】利活用のアイデアに関する意見

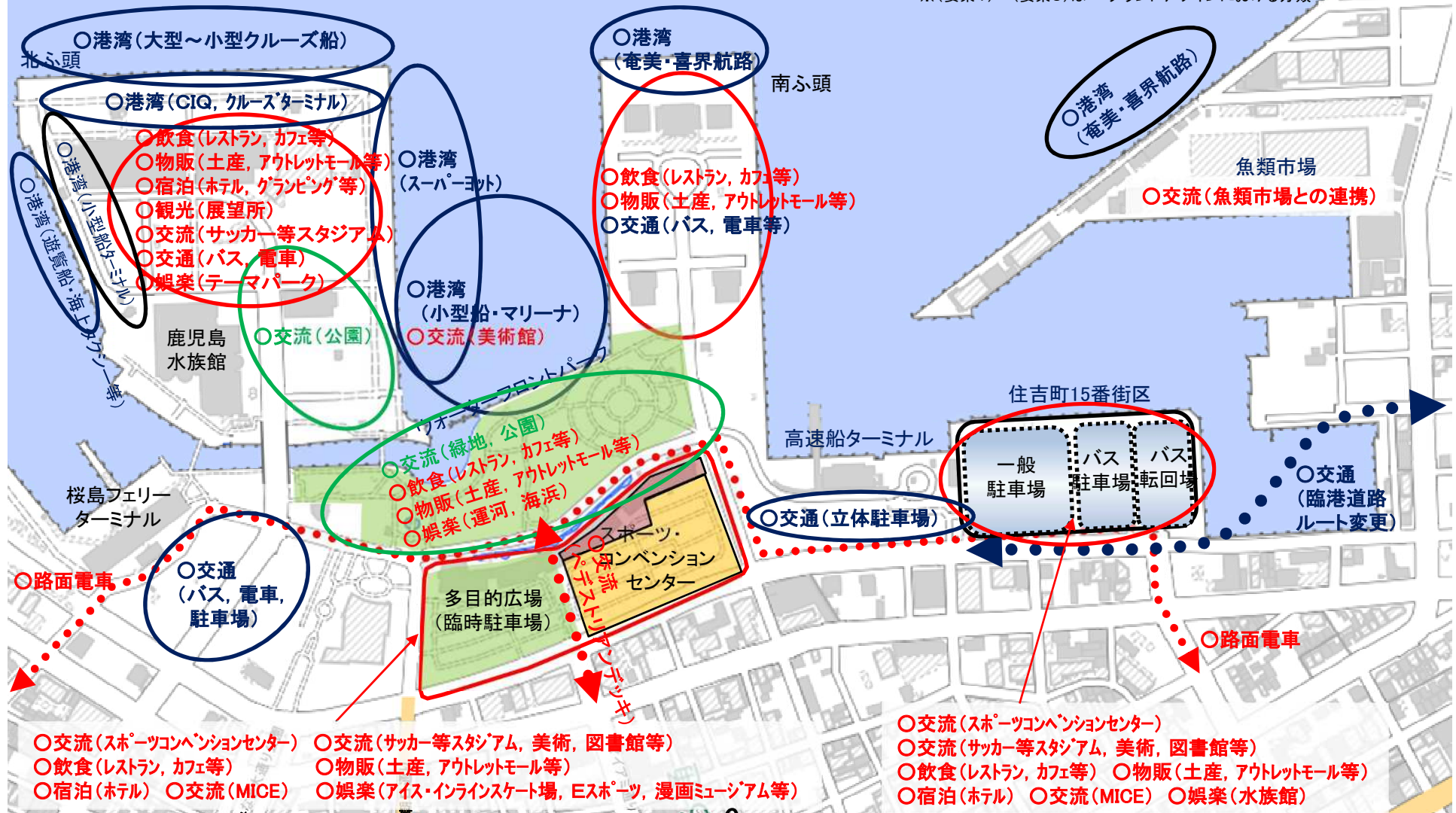
エリア及び導入機能(施設)

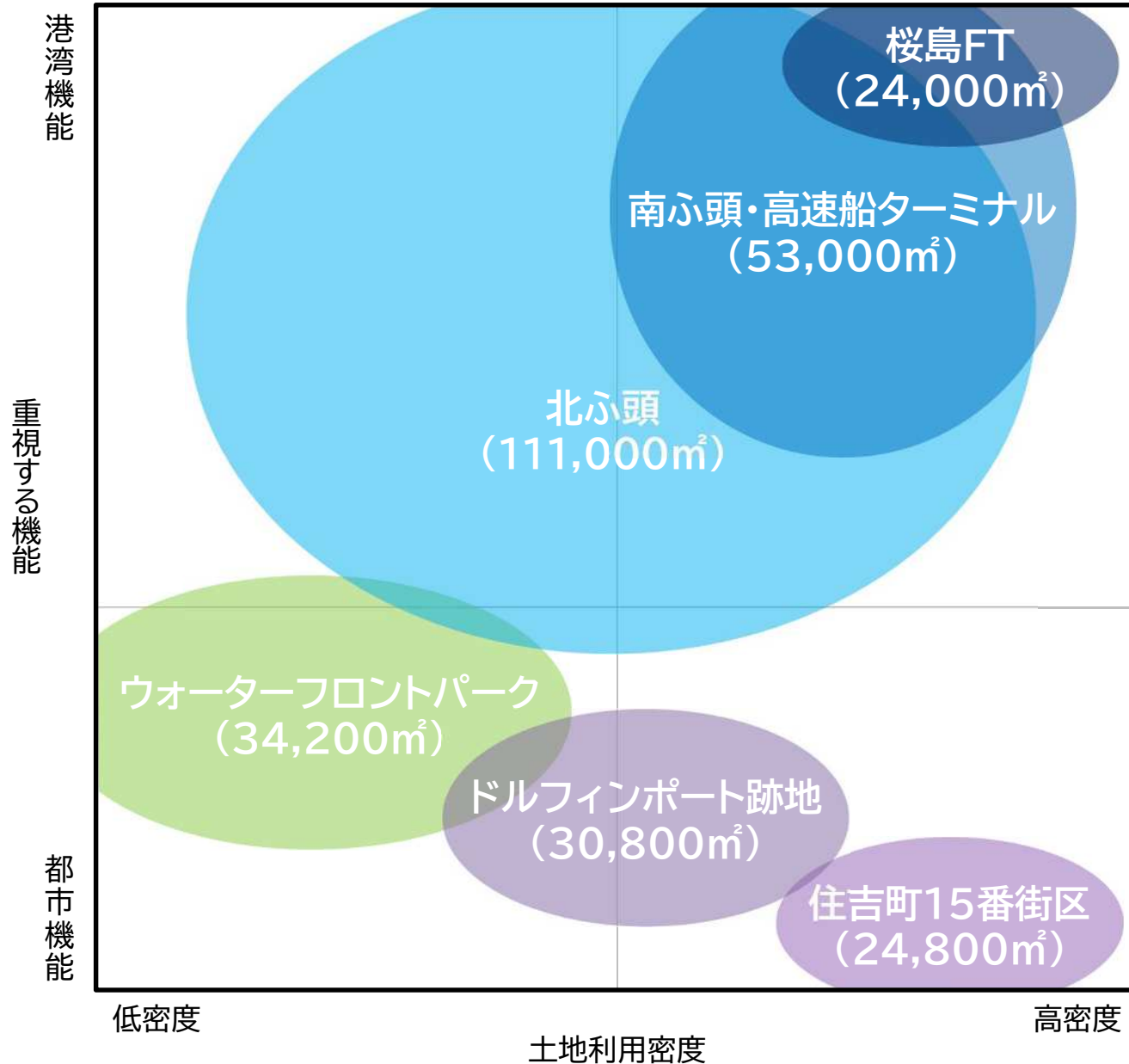
エリア指定なし

- 物販(アウトレットモール) ○宿泊(キャンプ, グランピング)
- 交通(空飛ぶタクシーの離着陸場, 駐車場) ○交流(公園, 美術, 図書館等)
- 娯楽(温泉, テーマパーク, 遊園地, 観覧車, スケボーパーク, 巨大アスレチック, マリンスポーツエリア, 展望タワー, 大型のイベント会場)

凡例	
○	(要素1)かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点 (要素2)かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
○	(要素3)景観資源(錦江湾や桜島, 歴史的建造物)を活かした魅力ある空間
○	港湾機能

※(要素1)~(要素3)は グランドデザインにおける分類





【この図について】

- 利活用のアイデアに関する意見の各エリアごとの大まかな傾向について、次の2軸を設定し、配置した。
- 横軸(土地利用密度): 平地としての活用が中心か、建物を建てての活用が中心か
- 縦軸(重視する機能): 港湾としての機能を重視するか、都市としての機能を重視するか
- 楕円の大きさは、各エリアの概ねの面積を示している。

【参考】検討委員会で出された意見や利活用のアイデアに関する意見等の重ね合わせ図

エリア指定なし

- 物販(アウトレットモール) ○宿泊(キャンプ, グランピング)
- 交通(空飛ぶタクシーの離着陸場, 駐車場) ○交流(公園, 美術, 図書館等)
- 娯楽(温泉, テーマパーク, 遊園地, 観覧車, スケボーパーク, 巨大アスレチック, マリンスポーツエリア, 展望タワー, 大型のイベント会場)

凡例	
○	(要素1)かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点 (要素2)かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
○	(要素3)景観資源(錦江湾や桜島, 歴史的建造物)を活かした魅力ある空間
○	港湾機能

- 小型船用ターミナル (待合所・切符売場・飲食, 物販等)
- クルーズ船の発着点としての機能の充実
○エンターテインメント空間の整備 (旅客ターミナルと倉庫のコンバージョン)
- 奄美・喜界航路の移転・集約
○移転については利便性に納得できる計画が必要

※(要素1)～(要素3)はグランドデザインにおける分類

